

3 各分野の目標値

◎朝食欠食率の減少

	H24	H34
20歳代	16.0%	→ 5.0%以下
30歳代	17.6%	→ 5.0%以下

◎朝食で野菜を食べる人の増加

	H24	H34
男性	22.4%	→ 50.0%
女性	26.2%	→ 50.0%

◎楽しく食事をしていない人の減少

	H23	H34
保・幼	3.9%	→ 0%
小2	0.5%	→ 0%
中2	0.6%	→ 0%

* その他の学年は、H24年度の時点で0%これを維持。

◎がん検診の受診率の増加

	H22	H34
胃がん	4.5%	→ 10.0%
肺がん	4.8%	→ 10.0%
大腸がん	9.3%	→ 20.0%
乳がん	17.3%	→ 28.0%
子宮がん	26.0%	→ 35.0%

◎特定健康診査の受診率の増加

	H22	H34
	24.0%	→ 60.0%

◎特定保健指導の指導率の増加

	H22	H34
	15.9%	→ 60.0%

◎成人歯科健診受診率の増加

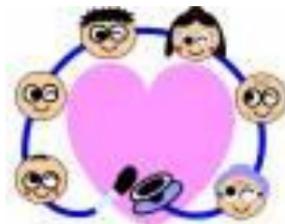
	H23	H34
男性	6.5%	→ 10.0%
女性	13.8%	→ 15.0%

◎歯科疾患予防教室の受診率の増加

	H23	H34
	38.5%	→ 45.0%

◎定期的に歯科健診を受けている人の増加

	H24	H34
男性	31.2%	→ 40.0%
女性	40.5%	→ 50.0%



◎運動習慣のある人の増加

	H24	H34
	30.8%	→ 44.2%以上

◎日常生活で意識的に運動するよう心がけている人の増加

	H24	H34
	28.9%	→ 32.8%以上

◎運動不足だと思っている人の増加

	H24	H34
男性	72.5%	→ 50.0%
女性	80.5%	→ 60.0%

◎喫煙している人の減少

	H24	H34
男性	43.3%	→ 50.0%
女性	12.5%	→ 15.0%

◎受動喫煙がこれらの病気に影響をあたえることを知っている人の増加

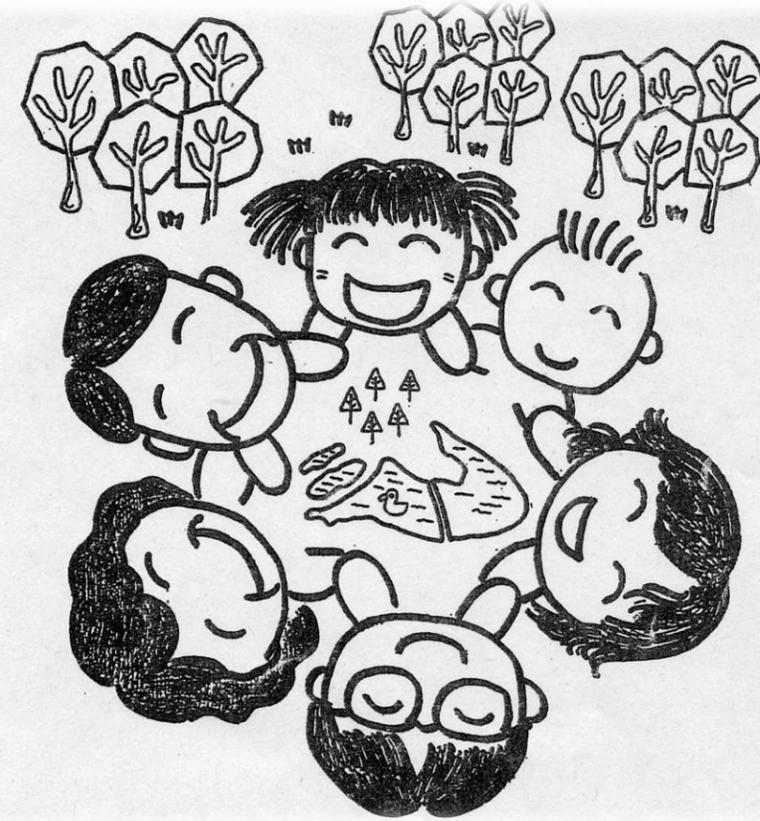
	H24	H34
男性	乳幼児突然死症候群	19.4% → 30.0%
	喘息	29.7% → 40.0%
	早産・低出生体重児	32.1% → 50.0%
女性	乳幼児突然死症候群	26.5% → 50.0%
	喘息	31.1% → 50.0%
	早産・低出生体重児	54.7% → 70.0%

四條畷市健康増進計画

なわて健康プランⅡ

健康なわて21後継計画

概要版



なわて健康プランⅡの目標設定の考え方

個人の行動変容から生活の質の向上を図る

目的

壮年期死亡の減少 ・がん予防	健康寿命の延伸 ・介護予防	生活の質の向上 ・生活習慣病予防
-------------------	------------------	---------------------

疾病（発生率・有病率）の低減

生活習慣の改善

（食育・運動習慣・がん検診・特定健診・歯・禁煙）

リスクファクターの低減
（特定疾患にかかりやすい原因）

具体的取り組みの整理

（食生活・身体活動・検（健）診・歯・たばこ）

●高年期死因順位
1位 悪性新生物
2位 心疾患
3位 肺炎
4位 脳血管疾患

●なわて健康プランⅡとは??

本市では、平成15年3月に市民一人ひとりが、健康への意識を高め、健やかに心豊で満足できる生涯を送ることを目指し、「壮年期死亡（早世）の減少」「健康寿命（要介護状態にならない状態で自立して生活できる期間）の延伸」「生活の質の向上（満足度の高い生活）」を目的に「健康なわて21」を策定し、10年計画で市民の健康づくりを進めてまいりました。

平成24年に実施した最終評価の結果では、十分な改善がみられませんでした。これは、10分野で幅広く取組んだため、目標値を達成するための具体的なプログラムや、関係者間の役割分担や連携のあり方が不十分で、健康づくりへの取組みが市民の皆様へ浸透されなかったためと考えられます。

この結果より、前計画の目的は継承し、「栄養」「運動」「検（健）診」「歯」「たばこ」の5つの分野を中心に、よりよい生活習慣に取組む意識を醸成していけるように、後継計画「なわて健康プランⅡ」を策定し、健康づくり運動を推進していく健康増進計画です。



1 目標達成度評価

目標値に対する総合評価

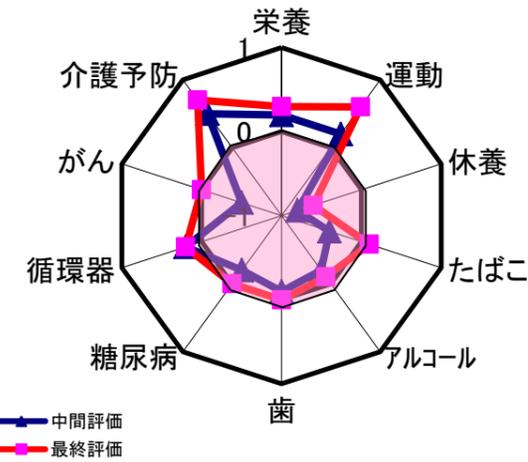
目標達成度評価は、10分野に掲載した目標値44項目、230指標の達成状況を下記の方法で評価しています。

<評価の結果>

「休養」「アルコール」は、微増に向上したものの、マイナス点でした。今後は「生活リズムは食生活から」という観点で、「栄養」の分野で取組めます。また、「栄養」は食育推進計画と整合性を図り推進します。

「糖尿病」「循環器病」の取組みは、循環器病は横ばい、糖尿病は不十分の0点でした。この分野は、H20年度から始まった特定健康診査・特定保健指導や、H19年度に施行されたがん対策基本法等の制度改正を踏まえ、今後、「がん」の分野を「検(健)診」の分野に替えて推進します。

「歯」は、定期的に歯科健診を受診している人が増加していました。引き続き「歯」の健康について取組めます。



「たばこ」の取組みは、庁内禁煙などの取組みもあり、目標値が0.1へ向上しました。この分野は、引き続き継続して取組めます。

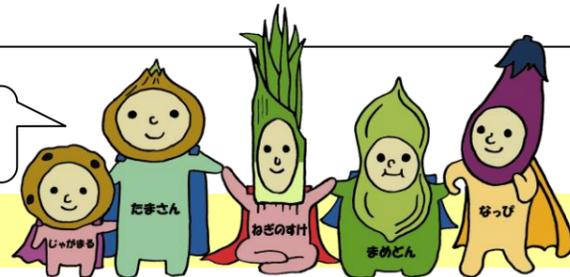
「介護予防」は、介護保険や地域支援事業の取組みで向上しました。今後、「運動」の分野で身体活動を高め、介護予防の観点を入れて取組めます。

<評価方法>

目標達成度評価では、項目の達成状況を【中間評価(H21年度実施)】と【最終評価(H24年度実施)】を比較し達成状況を評価しています。

項目別評価シートの3段階評価から「できた」1点、「不十分」0点、「できなかった・わからない」-1点として各分野の平均点を算出しています。

食育推進キャラクター
なわてレンジャー



2 各分野の取り組み

栄養 モリモリ野菜3食たのしく

課題

- ◆野菜の摂取不足や咀嚼(そしゃく)に関する意識が低い
- ◆男性の20歳代~40歳代は朝食を食べない割合が高い
- ◆楽しく食事をしていない人が微増



今後の方向性

- ◎食事の選び方から食べ方について関心を持つ人の増加
- ◎若年から食生活に関心を持ち、正しい知識を知っている人の増加



運動 小さなことから骨・骨と身近な運動始めよう!

課題

- ◆運動習慣のある人の割合が低い
- ◆意識的に運動を心がけている女性の低下
- ◆運動不足を感じ、今以上に運動したい人の増加



今後の方向性

- ◎運動習慣のある人の増加
- ◎日常生活で意識的に運動をするように心がけている人の増加
- ◎運動不足だと感じている人の減少



検(健)診 はやめ はやめの 検(健)診で 家族みんなの安心を

課題

- ◆がん検診の受診率が低い
- ◆男性の大腸がん、女性の肺がんの年齢調整死亡率の増加
- ◆特定健診、特定保健指導の受診率及び指導率が低い
- ◆検(健)診についての正しい理解が不十分
- ◆メタボリックシンドローム対策をしている人の割合が低い

今後の方向性

- ◎がん検診の受診率向上
- ◎男性の大腸がん、女性の肺がんによる死亡率の減少
- ◎特定健診、特定保健指導の受診率及び指導率の向上
- ◎検(健)診についての正しい知識の普及
- ◎メタボリックシンドローム対策を継続的に取組む人の増加



歯 みかけば輝る歯と健口

課題

- ◆成人歯科健康診査の結果で、異常なしの減少
- ◆若年層の口腔衛生に対する意識の低さ
- ◆50歳以上の歯の残存状況が低い

今後の方向性

- ◎健診の受診率向上し、異常なしの増加
- ◎各乳幼児健診でむし歯予防の健康教育を行い、むし歯保有率の低下
- ◎定期的に歯科健診を受けていない人へ勧奨や啓発を行い受診率を向上し歯の残存状況の増加



タバコ やめようタバコ 守ろう健康!

課題

- ◆喫煙・受動喫煙の害についての認知度の低さ
- ◆禁煙したいと思っている人の中で、6か月以内に禁煙をしようと思う人の割合の低さ

今後の方向性

- ◎喫煙・受動喫煙が健康に及ぼす害について知っている人の増加
- ◎禁煙している人の増加
- ◎未成年者の喫煙防止の推進

